

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備	12- 2
走行前の点検	12- 3
雪道, 凍結路の走行	12- 4
寒冷地での駐車	12- 5
タイヤチェーン	12- 6

冬期前の点検と準備

J01300100948

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。

→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（純正品）の濃度を50%にします。

ウオッシャー液

ウオッシャー液（純正品）の濃度を50%以上にします。

→「ウオッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。



アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16

地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例に従ってください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおっています。

寒冷地用ワイパーに交換するときは、車にあったものをおすすめします。詳しくは日産販売会社へご相談ください。

走行前の点検

J01300200675

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また、ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

📖 アドバイス

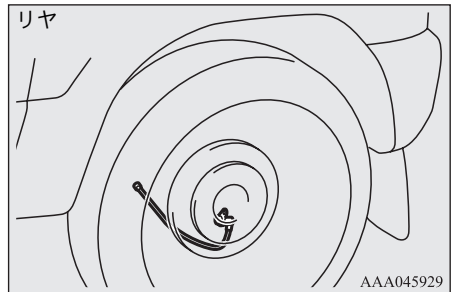
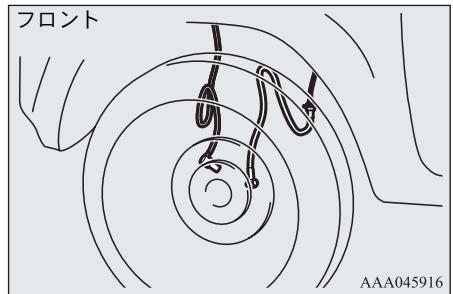
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
→「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」P. 9-10
フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり、ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠️ 注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。



ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり、き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや、ウインドウガラスの曇りを防止するため、靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル、ハンドル、ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで、効き具合を確認してください。

雪道、凍結路の走行

J01300300647

暖機運転について

長すぎる暖機運転は、燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は1分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし、タイヤチェーンを後輪に装着、または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上、日陰、水たまり、トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ、急ブレーキ、急ハンドル、急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道、凍結路は滑りやすいため、ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着水しハンドルの切れが悪くなる場合があります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400202

パーキングブレーキが凍結するおそれがあります。パーキングブレーキはかけず、マニュアル車はシフトレバーを①または②に、オートマチック車はセレクトレバーを③に入れさらに輪止めをしてください。

また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと、エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば、ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700915

後輪駆動を主とした四輪駆動車ですので、タイヤチェーンは後輪に装着してください。

注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けしないでください。

タイヤチェーンは必ず日産純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

日産純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると、ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

取り付け要領は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは、交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また、非常点滅灯や停止表示板（停止表示灯）で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、避けてください。